

企 業 名	株式会社エサキホーム
実 行 日	2023年6月30日
実施時期	2025年7月
コメント	<p>KPI達成に向け順調に進んでいる。</p> <p>① 廃棄物量の削減</p> <p>【1棟あたりの廃棄物量を2028年度までに2022年度比8%減少する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度は1棟あたりの廃棄物量が2022年度比1.6%減少。業者および職人などの観点から分析し、好事例を共有する等の効果が出始めている。 <p>② 環境配慮住宅への取組・リフォーム事業の推進</p> <p>【ZEH住宅の提供の強化する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築資材は高騰し続けているが顧客ニーズに合わせて提案し、2023年度比で販売実績は増加している。今後はGX志向型住宅など、さらなる顧客ニーズに応えていく方針。 <p>【リフォーム事業の売上を2028年までに2022年度比倍増する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度実績において2022年度比25%増加している。2025年にはリフォーム部門を事業部化し、今後はリフォーム事業部だけでなく、分譲部門やアフター部門でもリフォーム対応していく方針。 <p>【リフォーム事業の中で省エネ性能向上リフォームを強化する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度実績において対前年比増加。リフォーム部門と連携し、補助金の対応や省エネ給湯器・窓リフォームの普及について推進している。 <p>【メンテナンス負荷の少ない商材を積極的に継続使用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「デザイン・価格・メンテナンス負荷を始めとする品質のバランス」を重視し、三州瓦の使用継続を推進している。また、リフォーム外壁工事において30年塗装を提案・推進している。 <p>③ 環境配慮経営の推進</p> <p>【紙使用量を2025年度までに2022年度比10%削減を目指す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勤怠管理等各種書類のワークフロー化やパンフレット・DM等のPDF化を推進し、コピー機で使用する書類は2024年度実績において2022年度比16%減少。2025年度も営業・設計関連書類等のワークフロー化を推進していく予定。 <p>④ 「ゆとりある住宅」の提供</p> <p>【5LDKをはじめとするゆとりある住まいの提供の継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エリアに合ったゆとり」を一層模索し、5LDKのゆとりが感じられる準平屋「FLAATT」の提供を開始する等、地域や時代のニーズに合った居住空間の提供に努めている。 <p>⑤ 事業を通じた地域貢献</p> <p>【地域商材の継続使用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三州瓦や多治見の企業が扱うタイルを継続使用している。 <p>【地域の課題解決、街づくりに貢献する物件導入を毎年継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度もガーデンライトを設置した物件を一宮市等で竣工。また、IoT住宅を豊田市で竣工する等、引き続き防犯性の向上と夜間景観の向上に努めている。

【地域の事業者・人材活性化につながる取り組みの継続】

- ・地元の大学生を中心に採用活動を行っており、2025年採用9名は全員東海地方の出身である。

⑥ 大工育成支援制度

【2028年度までに10名の育成支援を目指す】

- ・2024年度は2名の育成に着手し、計4名育成支援中である。2025年度は新たな大工育成策を検討していくことを確認した。

⑦ 従業員の能力向上

【全社員への研修機会提供の継続】

- ・30歳以下の社員には最低1講座の受講を義務付け、社員全員が受講可能な選択式研修の案内を継続実施している。

【2028年度までに階層別研修の仕組み整備実施】

- ・2024年度は主任クラスを対象とした若手マネジメントリーダー研修の実施を確認。今後は課長クラスの研修を予定している。

【チャレンジ目標設定による社員の自己啓発強化の継続】

- ・評価基準策定と課長クラス以上を対象とした評価者研修を実施し、2025年度より運用開始予定。

⑧ 働き方改革の推進

【育児・介護など生活環境の変化による離職率の低減】

- ・2023年6月以降に育児・介護を理由とした退職者は発生していない。2025年4月には時短勤務対応の延長（小学校3年生までだったものを6年生まで）を実施している。

【育休明け復帰率100%を継続】

- ・男性の育休取得も定着し、育休明け復帰率100%継続している。

⑨ 江友会と連携した安心、安全な仕事環境の構築

【重大な労働災害発生件数0件継続】

- ・2023年度に続き未達成となったが、発生件数は減少した。

【事故発生件数10件以下とする】

- ・2023年度より実施している「上棟時先行剛床」「危機箇所の親綱張り」の効果が見られ、10件以下まで減少し達成。引き続き対策強化に取り組んでいる。

【安全大会の定期開催】

- ・2024年度は10月に開催し、その他年6回の安全衛生協議会や年5回の安全パトロールを実施。

⑩ 法令遵守

【重大なコンプライアンス違反件数0件継続】

【重大な情報セキュリティ事故件数0件継続】

- ・ともに0件を継続。2024年度は管理職を対象としたハラスメント研修やメールセキュリティ対策等体制整備を強化している。